

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者の安全確保の為、やむを得ない場合は、家族の同意を得たうえで身体の拘束を行っている。	身体拘束をしないケアを目指す。	全職員が身体拘束の内容と弊害を認識し、共通の意識を持ち、利用者の立場になって身体的、精神的な苦痛を理解する。利用者の状態や生活リズムを把握し、行動の理由や原因を考え対応策を話し合い、身体拘束をしない支援を行う。	12 か月
2	43	排泄の失敗や、オムツの使用を減らし、個々に合った排泄の自立支援を行う。	オムツの使用を減らし、トイレでの排泄や一人ひとりに合った排泄の自立支援を目指す。	利用者の尿意のサイン、排尿回数、排尿間隔等を把握し、声かけトイレ誘導を行う。オムツからリハビリパンツ、ポータブルトイレ、トイレの使用等、利用者に合った排泄方法を検討し、排泄の自立支援を行う。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。